

図書だより

2024



種子島中央高等学校図書館

今月号が3年生に渡す最後の図書だよりとなります。このたよりを通して少しでも読書に興味を持ってもらえたら嬉しいです。小さな本の中には大きな世界が広がっていて、みなさんの様々な想いに応えてくれます。また、本は一人で読み深めることも、感想や意見を人と交換し分かち合うこともできます。1冊の本を契機にそこから人の輪も広がるかもしれません。これからも多くの本に触れ、素敵な出会いを重ねていってくださいね。



猫の日ってしってる？

2月22日は、日本猫の日
実行委員会が制定した日本の「猫の日」です。(ちなみに「世界猫の日」は8月8日だそうです。)

そこで、図書館では猫に関係する図書を展示してみました。忙しい毎日を送っている皆さん、たまにはニャンコの本で癒やされてみませんか。



図書委員会報告 ~年間反省~

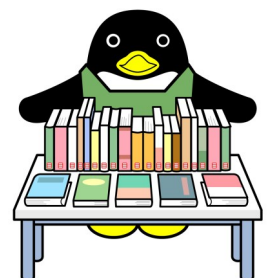
★貸出冊数について

目標を「年間5冊以上図書館の本を借りて読む」と掲げ活動してきたが、1月までの貸出平均冊数は、生徒ひとり当たり6.2冊で、平均の目標は達成できた。

★読書推進活動について

校内読書週間にミニビブリオバトルや移動図書館を実施することで、読書への取り組みを後押しすることができた。朝読書前の放送も何とか続けられて良かった。

前年度の年間8.0冊と比較すると「もう一息!」という感じです。3月に入ると自宅学習期間があります。一人3冊まで貸出ができますので、この機会に気になっていた本を読んでみましょう!



第170回

芥川賞・直木賞決定

【芥川賞】

『東京同情塔』
九段理江

【直木賞】

『ともぐい』
河崎秋子
『八月の
御所グラウンド』
万城目学

1月17日に、第170回(2023年後期)の芥川賞と直木賞の受賞作が決定しました。

これらの賞は、小説家でもあり文藝春秋社を興した菊池寛が、親しかった芥川龍之介・直木三十五の業績を記念し創設したものです。芥川賞は同人誌を含む雑誌に発表された、新進作家による純文学(*)の中編・短編の中から選ばれます。直木賞は、新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本(長編もしくは短編集)が対象です。

※純文学…大衆文学に対して、純粋な芸術を指向する文芸作品、殊に小説。(広辞苑第5版より)

『東京同情塔』ともぐい
配架準備中です!



どの作品もハズレなし!?

2024本屋大賞/ニネット作品

売りたい本
いちばん!
全国書店員が選んだ
2024年本屋大賞

全国の書店員さんが実際に読んで選ぶ「本屋大賞」の候補作品が発表されました。書店員さんが実際に読んで選ぶだけあって、どの作品も読み応えがありますよ! 図書館にも★マークの作品は有りますので、ぜひ読んでみてくださいね。お探しの本が見あたらない場合や予約をしたい場合はカウンターまでご相談ください。

★『黄色い家』 川上 未映子

『君が手にするはずだった

黄金について』 小川 哲

★『水車小屋のネネ』 津村 記久子

『スピノザの診察室』 夏川 草介

『存在のすべてを』 塩田 武士

★『成瀬は天下を取りに行く』

宮島 未奈

『レーエンデ国物語』 多崎 礼

『放課後ミステリークラブ1』

知念 実希人

★『星を編む』 凧良 ゆう

★『リカバリー・カバヒコ』

青山 美智子